「病院新聞」

2013年3月14日第2259号

移転新築オープン

イムス三芳総合病院

救急医療体制を充実

3月1日オープン『薬物療法支援室』新設

IMSグループ（中村哲也理事長）では、一日に医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院（石田規雄院長、埼玉県入間郡三芳町藤久保九七四―三）を移転新築オープン、四日から外来診療をスタートさせた。新病院では救急センターを新設するなど救急医療体制を充実させ、地域医療へのさらなる貢献を果たしていく。また、薬剤科には新たに『薬物療法支援室』を設置し、病棟薬剤業務のサポート体制を充実させる。新病院は、地上九階建て、二百三十八床、十九診療科を標榜している。開院に先立ち行われた竣工祝賀会で、石田院長は「地域を背負って立てるような病院をスタッフ一同築き上げていきたい」などと抱負を語った。

3月1日にオープンした新病院

石田規雄院長

自然採光が取れる病室

イムス三芳総合病院は、昭和五十二年五月に医療法人社団米寿会附属三芳厚生病院の名称でケアミックス型病院として開設した。平成十九年に現名称に改称後、急性期医療を担うための体制整備を進めてきた。しかしながら、旧病院は老朽化が進み、急性期医療を提供するためには様々な限界があったことなどから、新病院の移転新築工事が進められ、このほど新病院が完成、一日オープン、四日に外来診療を開始した。

新病院の一階には救急センターが新設された。また、放射線科、外来部門などを整備した。放射線科では新たにMRI、X線透視装置を導入し、低被ばくで精度が高い、患者にやさしい検査を実施していく。

二階には中央検査室、内視鏡センター、手術室を整備した。手術室はクリーンルームを含む合計三室となっている。また、結石破砕センターを整備した。『体外衝撃波結石破砕術（ESWL）』については、平成十九年七月の診療開始から二十四年十二月現在まで、合計一千四百二十四件の治療を実施、今後も力を入れて取り組んでいく。

三階には、リハビリテーション室、透析室、薬剤科が整備された。このうち、薬剤科では、新たに『薬物療法支援室』を設置した。二十四年度診療報酬改定において『病棟薬剤業務実施加算』が新設されたことをうけ導入されたもの。同室から各病棟のスタッフステーションにLANが繋がっており、病棟薬剤師が患者情報や薬剤情報を入力し医師や看護師と情報共有を図るなど、情報管理、病棟支援を行う。薬剤科の佐藤秀昭科長は「おそらく『薬物療法支援室』という名称をつけ、部屋を確保したのは日本で初めてだと思います。将来性があると思います」と説明する。

四階は管理部門、五～九階には病棟が整備された。このうち、五階には特殊浴室を導入した。ミストシャワーで身体を洗浄でき、患者が安全、快適に入浴できるように配慮している。さらに、七階には感染対策個室（陰圧室）が設置された。また、各スタッフステーションは病棟のほぼ中央に位置し、各病室への導線や視野性にも配慮している。HCUをスタッフステーション近くに配置することで、術後患者や重症患者の状態観察や処置を素早く行うことができる。

病室は四床室と個室が整備された。全ベッド電動式を設置している。自然採光が取れる南北面に各病室を配置し、天気の良い日は窓から富士山が望めるなど患者の療養環境にも配慮した。

一方、災害時でも機能を発揮できるように、医療ガスを一階中心部のホスピタルモールに整備し、トリアージができる環境を整備した。

イムス三芳総合病院の概要

▽所在地＝埼玉県入間郡三芳町藤久保九七四番地三

▽新病院の規模…敷地面積＝約一万四千五百七十四平方メートル。延べ床面積＝約一万四千百六十一平方メートル。規模＝地上九階建て、鉄筋コンクリート造。駐車台数＝約百三十台。

▽病床数＝二百三十八床。

▽診療科＝内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、リウマチ科、神経内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科＝十九科。

レベルの高い病院に

竣工祝賀会を開く

新病院の開院に先立ち、二月二十二日には林伊佐雄三芳町長をはじめとした来賓および関係者多数出席の下、竣工祝賀会が盛大に執り行われた。

はじめに中村哲也理事長があいさつに立ち、「今、日本でトップを走る機能とデザインが当院に注ぎ込まれていると思っています。これをどう活かし、地域医療に貢献するかが私どもに与えられた任務だと思います。本来の目的である、地域医療を全うして必ずや成功させていきたいと思っております」などと述べた。

引き続き、石田規雄院長があいさつを行い、「以前、林伊佐雄町長とお話をした際に、今後も病院運営に協力していきたいとのことでした。三芳町には町立病院がないため、林町長からは町立病院のような気持ちで病院を運営してほしいという要望もありました。私たちもこれからしっかりと三芳町を支えられる病院を作っていきたいです。また、今後は当地域の医療を支えるレベルの高い病院として運営していきたいと思っております。まだ、至らない点はあると思いますが、職員一同やる気になっておりますので、ぜひご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。この地域の中心となって背負って立てるような病院をスタッフ一同で築き上げていきたいと思います」と抱負を述べた。